



市辺地区まちづくり協議会広報誌

いちのべ

万葉のまち 市辺

第69号

令和6年10月



輝け! みんなの色彩 ~

市辺ふれあいフェスタ 館内ステージに歓声
グルメエリア・キッチンカー・特産品に満足



発行：市辺地区まちづくり協議会 / 東近江市市辺町2391
市辺コミュニティセンター内 TEL&FAX 050-5802-3392

Facebook



市辺ふれあいフェスタ

10月13日(日)午前10時から午後3時、市辺ふれあいフェスタが開催されました。船岡中学校の体育館では、お猿のしんちゃんショー、船岡中学校吹奏楽部の演奏、ダンス

ショー、鈴温泉太鼓・演舞、よさこいソーランなどのステージプログラムが繰り広げられました。駐車場のグルメエリアや各種団体のバザーが大賑わいでした。



お猿さんに輪投げ



目の前でバク転



船中吹奏楽演奏



ダンスショー(1)



ダンスショー(2)



ダンス披露後の集合



鈴温泉太鼓(1)



鈴温泉太鼓(2)



よさこいソーラン



減災カルタ大会



子ども抽選会



ふれあい大賞表彰



消防自動車でピース



屋外バザー風景(1)



屋外バザー風景(2)

「市(いっ)福(ぶく)みらい会議」 広縁会を開催

9月26日コミセンにおいて、自治会長、民生委員、各種団体長、福祉協力員の皆さん、総勢55名出席のもと第3回広縁会(こうえんかい)を開催しました。



今回は「防災」の重要性から、今後自治会や地区、自分自身で取り組むことのできる見守りなど、身近な暮らしの中での様なことを考えなければならないか、また、きっかけ作りについて懇談会を行いました。

懇談会に先立ち市社協から「防災」を切り口に、「災害から考える、見守り合い」について話題提供があり「おたがいさんの見守り合い」の大切さを教えていただきました。



グループ懇談会では、近所付き合いの大切さ、互いに気にし合える関係、自治会活動がつながり合える機会づくりになっている、などの意見が出ました。普段の暮らしの中での「つながりや見守り・支え合い」が、災害時にも役立つ大切さについて共有しました。



今回、「つながり広辞縁第3号」を発行しました。昨年

の関係、自治会活動がつながり合える機会づくりになっている、などの意見が出ました。普段の暮らしの中での「つながりや見守り・支え合い」が、災害時にも役立つ大切さについて共有しました。

今回、「つながり広辞縁第3号」を発行しました。

昨年をつながりアンケート結果集計として、リーフレットにまとめて全戸配布しました。今後も地域福祉活動への取り組みについてお知らせし、皆様のご協力をお願いします。

市福みらい会議座長 谷 精一郎

いちのべ地域のお宝 つながり広辞縁 第3号

「災害から考える見守り合い」の縁会を開催しました
(市社協)
令和5年9月26日

グループ懇談会結果を録音
(全票で共有)

見守り合いに向けた市福みらい会議からお願い
市福みらい会議では、健康とライフ予防をテーマに、身近なつながり、個人を取り組むのではなく、この間に起こるリスクを減らすために、月例全戸配布の「つながり広辞縁」の発行を続けてきました。

第3号となる広辞縁は、全戸を対象としたアンケート結果を集計し、追加のアンケートで、より具体的な生活を送るために必要な出会いを求めた内容です。

二回目となる昨年をつながりアンケートでは、今ある思いを大事にしながらい、誰もがどこかでつながる機会を、現状と今後について話し合いました。

三回目のアンケートは、北条会場で準備された方に「広縁つなぎアンケート」をお願いしました。そのアンケートの結果を、このリーフレットに掲載し、全戸配布しました。皆様のご協力のおかげで、皆様にご協力をお願いいたします。

つながりアンケート
期間：令和5年5月5日～7月14日
(回答者数：370名)

＜基本情報 男女・年代別ほか＞
＜自家のつながりについてお聞きします＞
設問1 どのようなつながりがありますか？
設問2 どのようなお付き合いをしていますか？
設問3 お付き合いのきっかけは？
設問4 あなたが参加できる場所はありますか？
＜今後の取り組みについてヒントを教えてください＞
設問5 つながりの範囲で大切と思うのは？
設問6 どのようなつながりの機会があると良いか？
設問7 どんな工夫があると良いか？
設問8 つながり広辞縁を知っていますか？
設問9 広辞縁についての感想

数珠つなぎアンケート
期間：令和5年11月1日～5日
(回答者数：126名)

＜あったらいいな＞
つながりアンケートから、問6・問7を具体的に「こんなことしたいな」「こんな場があればいいな」を聞きました。下のカテゴリをセントに答えて頂きました。

＜カテゴリ＞

- ◎ 気軽に会い合える場
- ◎ 自由に交流できる場
- ◎ 趣味サークル活動
- ◎ 両世代が楽しめる場
- ◎ 多世代が楽しめる場
- ◎ 情報が受け渡せる場
- ◎ 同じ趣味の方が集う場
- ◎ 勉強や学びの場
- ◎ 得意なことができる場
- ◎ 暮らしの悩みが軽減・相談できる場

※本号では今回のアンケート結果を掲載しました！

歴史・文化部

令和6年度市辺歴史発見塾 歴史文化部

「幕末史の真実と井伊直弼」

7月28日、溽暑の中「幕末史の真実と井伊直弼」と題し野村しづーさんの歴史の真相解明の講演を開催しました。

幕末史は、薩長出身の重鎮らを中心とした為政者により都合よく作られ、国定教科書さえ真実でないこともあることを教わりました。参加者27名の皆様も講義を通じ井伊直弼の名誉回復を快く感じておられたことでしょう。

A. 幕末史の真実

①日米修好通商条約は井伊大老が天皇の勅許を得ず独断で条約を結んだのではなく、幕議で決定。大老は「勅許を待つ」と主張していたが全権大使2名が決行、孝明天皇は勅許した。

②安政の大獄は幕政に反対したものを弾圧したのではなく幕府の取り決めを破った徳川斉昭らを将軍の強い意向で罰した。

③大政奉還・王政復古 戊辰戦争は薩長勢力が武力で倒幕。

B. 桜田門外の変とその後の真実

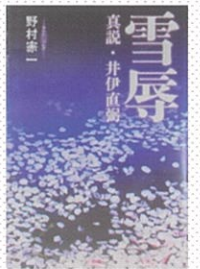
①大老は事前に襲撃を知らされていたが登城を実行、水戸



の徳川斉昭の指図である密書を入手していた。

②彦根藩士 小西義徹が脱落し、水戸の徳川藩邸で徳川斉昭を刺し大老の仇を討った。昭和41年彦根史談会誌で発表された。

その他多岐にわたる真実の事項を話されましたが割愛し、講師野村さんの著書の紹介をさせて頂きました。



第3回 中山道を歩く (愛知川宿から武佐宿)

今回のテーマ『近江商人の故郷から歴史ロマンの里へ』を題材として近江鉄道愛知川駅から出発しました。愛知川宿に入ると、脇本陣の碑が立ち、街道筋は商店街になっているが、いくつか古い商家も残り、200年以上の歴史を誇る料理屋竹平楼の門構えは目を引く。

中山道は愛知川宿を出ると、かつての暴れ川とよばれた愛知川の御幸橋を渡り、近江商人の故郷・五個荘に着く。その先、新幹線の下をくぐると突如鬱蒼とした老蘇の森が現れる。また織田信長寄進の奥石神社本殿も豪壮。武佐は現在、近江八幡市に属するが市の中心からずいぶん離れているので比較的ひっそりしている。

武佐宿の高札場跡を過ぎると、古い建物が連なってくる。今回は天候にも恵まれ総勢21名が往時の中山道を想像して、楽しく散策しました。



部会だより

安全・安心部

安全安心部では、8月21日に蒲生西小学校の学童保育を対象に減災かるたの出前授業を実施しました。市辺地区の枠を越えての開催は初めてでしたが、約80名の児童と一緒に賑やかに授業を行うことができ、担当の先生からは「子ども達が楽しみながら減災を学ぶにはかるたの様な色々なツールが大切ですね」とコメントをいただきました。

また、9月13日には減災連絡会議に参加しました。60名程の出席者が8グループに分かれHUG（避難所運営ゲーム）を行いました。地区の避難所に指定されている船岡中学校と布引小学校の平面図を使って、避難所での対応の難しさを模擬体験することができました。あらためて日頃からの備えの大切さを痛感しました。

健康・福祉部

市辺地区シニア健康グラウンドゴルフ大会開催 まち協 会長杯“2024”

第4回市辺地区シニア健康グラウンドゴルフ大会を実施します。参加者募集要項は次の通りです。

※開催日 11月13日（水）布施公園 小雨決行
（荒天の場合 11月27日）

※競技開始 9時（集合時間；8時30分）

※参加定員 80名

※参加費 100円

※申込み

地区同好会員は各町代表者へ10月16日～24日

一般参加者の方は市辺コミセンへ10月24日～28日

※申込登録・町名・氏名・年齢・性別・電話番号
詳細は町内回覧チラシをご参照ください。

市辺地区 まち協 健康・福祉講演会開催

健康で暮らしを豊かにする手引書として講演会を行います。参加者募集要項は次の通りです。

※開催日 11月21日（木）13時30分～14時30分

※会場 市辺コミュニティセンター 大ホール

※講師 京滋ヤクルト販売株式会社 濱本氏 今村氏

※テーマ 「健康は腸から」

※定員 50名

※申込み 11月6日（水）までに市辺コミセンへ申し込んでください。

詳細は町内回覧チラシをご参照ください。

地域活力部

去る6月29日（土）に、昨年に引き続き、船岡山万葉の森周辺において、美化清掃活動（ゴミ、空き缶など）を部員8名にて行ないました。

日常から綺麗に保全されているためか、少量のゴミ収集でした。今回、身近な船岡山であり



ながら、改めて訪れると、地域の方々ひとりひとりが我が町を大切にされている事が実感できる万葉の森でした。いつまでも心地よく過ごせる場所として、美化活動を今後も継続していきたいです。

また、今年度（令和6年）より、森嶋安夫さんより部長を引き継ぎました南井伸夫です。市辺地区まちづくりの一助に努められたらと思うところです。宜しくお願い致します。

自然・環境部

最近の気象異常と思われる、経験したことのない激暑、豪雨、暴風、などは、地球温暖化が原因と言われています。そこには、大量生産、消費、廃棄、など、人類の欲求を満たすために使われた無駄なエネルギーが多いと思います。発生したCo2は、それが人類を苦しめ、命まで脅かすことは、ある意味、身から出た錆と言えます。しかもそれを防止するのも人類のはず。その為にも発生するゴミの量を抑え、活かす努力が必要だと思います。

自然環境部が薦める木製コンポストは、生ごみを善玉菌の活用で、有効な堆肥にし、ゴミの運搬、焼却に関わる燃料、Co2を抑え、その上に安全、有効な改良剤として活かします。

当部では、本年度60cm角のコンポスト（写真右）を作成しました。市辺地区にお住いの、より多くの方のコンポストデビューを期待しています。地産、地消。旬産、旬消。ごみの自産、自結こそ、有効な温暖化防止策であり、地球に優しい最善の方法と考えていますので、是非コンポストの使用、活用をご検討下さい。



わが家の「ペット」紹介



ご住所：東近江市糠塚町

お名前：SF様

ペットの名前：ぐり

ペットの紹介：職場の倉庫で迷子になっていたところを拾いました。今では世界一の幸せもの（ねこ）です。やんちゃでいしん坊でfunny catなboyに育ちました（！）

（面白い 猫 男の子）

編集後記

近年特に気候の変化から、異常気象という言葉をよく耳にします。その現象が、今年も日本本土のどこかで起こっていますが、困ったことですね。地震は、世界の中でも日本は特に多く発生していて、1月には元日の能登半島地震の被災があり、更に9月21日の豪雨から、水害による川の氾濫や決壊に、がけ崩れなども発生しました。最近は、考えを改め「災害は忘れる前にやって来る」と思うようにして、注意したいと思います。

T. K